

北寺塔について

孫権 「今回は蘇州にある『北寺塔』(Bei Si Ta)について説明するぞ」

朱然 「北寺塔...ということは、寺の塔なのか？」

孫権 「まあ、そうだな。『北寺塔』は『北寺』という寺にある塔で、俺が母上を記念して建てた塔だと言われている」

朱然 「『**と言われている**』って...曖昧な言い方だな。お前が建てたのなら『俺が建てた』と断言すればいいじゃないか」

孫権 「いや断言しない方が、後世の者に謎を残して...面白味が出て良いじゃないか(ヒソヒソ)」

朱然 「あっ、そうか(コソコソ)
ええと、塔のある『北寺』は、お前が母君のために建てた邸宅で、蘇州最古の仏教寺院だ...と後世では伝えられているらしいな」

孫権 「ああ。この『北寺』は、もとは『報恩寺』と

呼ばれていて、『**北寺塔**』ももとは『**報恩寺塔**』と呼ばれていたんだ」

朱然「ふうん、なるほど。ところで『**北寺塔**』は、一体何のために建てられたんだ？」

孫権「前述したように、俺が「**母上を記念して建てたもの**」だと言いつたされている。俺が母上の恩に報いるために建てた、という話も残っているぞ」

朱然「この『**北寺塔**』...お前が建てた後も、何度か改築されているみたいだな」

孫権「どうも、そうらしいな。数度の改築や炎上を経て、南宋の**紹興23年(1153)**に現在の形に建てられ、**1965年**に大掛かりな改修がされたらしい。まあ、俺達の時代から何百年も後の話だから...俺が知ってるわけ無いんだけどな(笑)」

朱然「**高さは76メートル**で...へえ、**蘇州**一高い塔なんだ」

孫権「塔は**八角九層**。内部は外廊、内廊、塔心の3つの部分で構成されている」

朱然「八角九層？」

孫権「**9階建て**で、**8つの面**を持っているという

ことだ」

朱然「9階建てで高さ76メートルか。...そう
いえば、この塔は登ることができるの
か？ 上に登ったら、さぞかし見晴らし
が良いだろうなと思ったんだが」

孫権「ああ、7階までは木像の階段で登ること
ができるらしいぞ。
ただ、最上階の7階に登るには、入場料
とは別に1元払わなければならないから
... 気をつけるようにな」

朱然「そういえば、入場料とかも払うんだよな。
旅は出費が多いから、あらかじめ料金が
どれくらいか把握しておいた方が便利か
も。で、いくら払えば良いんだ」

孫権「参観料は7元だ」

朱然「7元だな。よし」

孫権「登塔料は5元」

朱然「.....えっ？」

孫権「最上階に登るのに、1元」

朱然「ちよっ、ちよっと待て！入場するのに7
元取られて、塔に登るには別に5元？

その上、最上階に登るには1元払わなきゃならないって...ちょっと取り過ぎじゃないか？」

孫権 「俺が金取ってるわけじゃないぞ！料金を決めたのは後世の者なんだから...俺に文句言うなよな」

朱然 「それもそうか。まあ、料金は最大13元かかるってことで」

孫権 「住所は『江蘇省蘇州市人民路652号』ということだが...これだけ聞いても、どこにあるのか良く分からないな~」

朱然 「詳しい行き方については、また別に取り上げるということで」

孫権 「まあ、時間があれば『北寺塔』観光も良いと思うんで...」

朱然 「今回の文章も参考にしてみてくださいな」